

4) 国道 17 号沿線区域

【基本的な考え方】

- ・ 落ち着いたある沿道景観を形成する。
- ・ 沿道から見る遠景の自然景観を確保する。
- ・ 山々から見下ろされる眺望景観を確保する。

【建築物・工作物の基準】

項目		基準
建築物	形態 意匠	形態
		屋根の素材
		屋根の色彩
		外壁の素材
		外壁の色彩
		細部意匠
	高さ 配置 建築設備・外構等	高さ
		配置
		建築設備・外構等

項目	基準											
工作物	<ul style="list-style-type: none">・高さのあるものや大規模な敷地面積を有するものはできる限り道路や建物等から離れた位置に配置する。・反射光のある素材を使用する場合は、道路等から見えないよう高さや向きを工夫する等、周辺との調和に配慮する。・遠景の自然景観を阻害しない高さとなるよう努める。・周辺建物等との調和に配慮し彩度の低い色彩を使用するよう努める。・基調色には、以下の推奨色を使用するよう努め、禁止色は使用しない。											
	※強調色（アクセントカラー）として用いるものについてはこの限りではないが、その使用面積（複数の強調色を使用する場合は合計使用面積）は、壁面の面積の5分の1以下とすること。											
	【マンセル表色系】（p. 52「＜参考＞色彩基準のイメージ」参照） <table><tr><th></th><th>色相</th><th>明度</th><th>彩度</th></tr><tr><td>推奨色</td><td>－</td><td>3.0 以上</td><td>2.0 以下</td></tr><tr><td>禁止色</td><td>－</td><td>－</td><td>6.0 以上</td></tr></table>		色相	明度	彩度	推奨色	－	3.0 以上	2.0 以下	禁止色	－	－
	色相	明度	彩度									
推奨色	－	3.0 以上	2.0 以下									
禁止色	－	－	6.0 以上									

【その他の行為の基準】

項目	基準
開発行為/土地の区画形質の変更	<ul style="list-style-type: none"> ・切土・盛土は必要最小限にとどめるよう努める。 ・法面や擁壁が生じる場合はできる限り緩やかな勾配とする等、周囲の圧迫感等を軽減するよう努める。 ・敷地内の緑化に努める。
木竹の植栽・伐採	<ul style="list-style-type: none"> ・木竹の伐採は、皆伐はできる限り避け、既存樹木の保全に努め、必要最小限の伐採にとどめる。
屋外の堆積	<ul style="list-style-type: none"> ・堆積規模は必要最小限とし、高さはできる限り低く抑え、植栽等で見えないように遮蔽するよう努める。